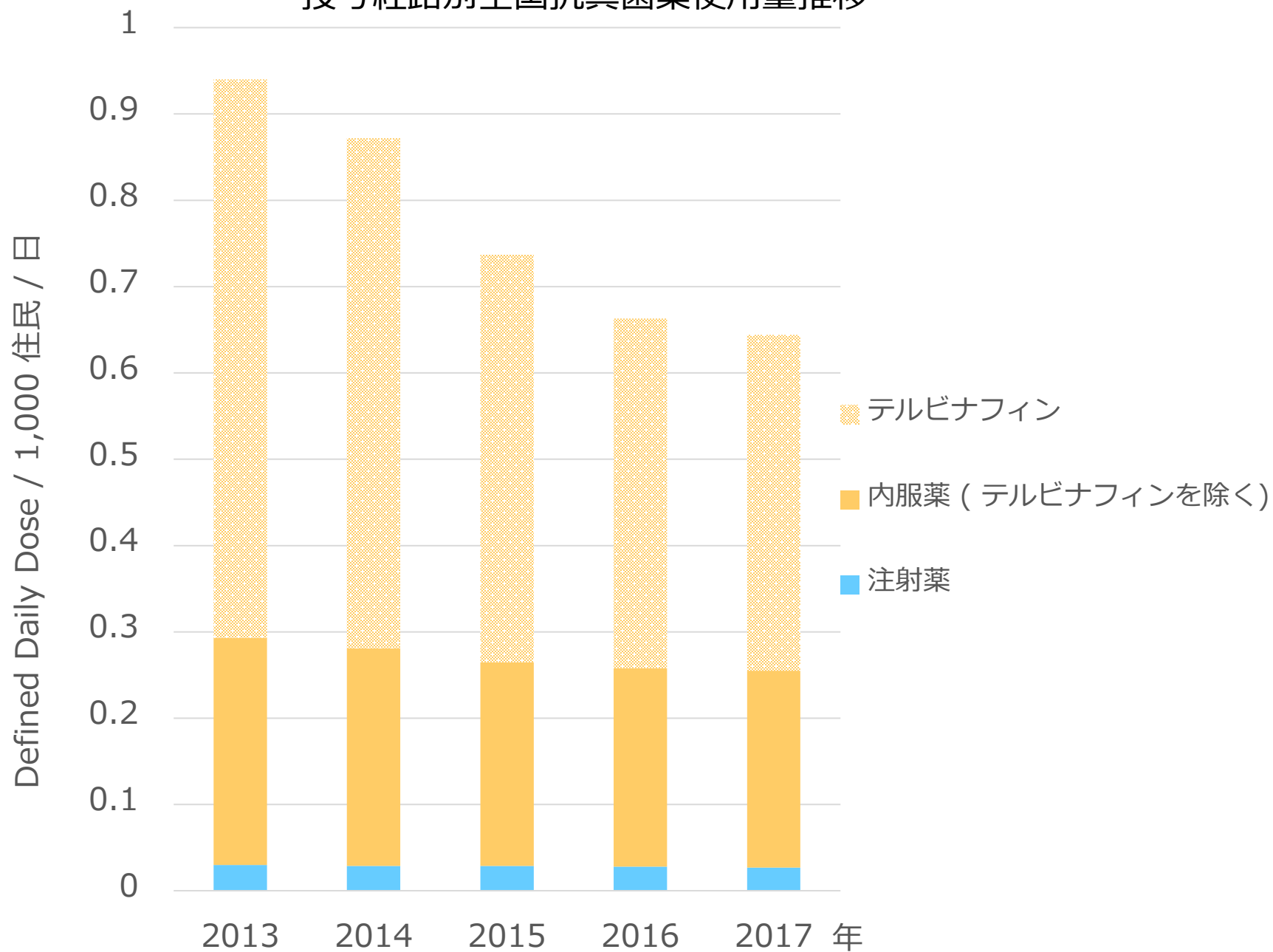


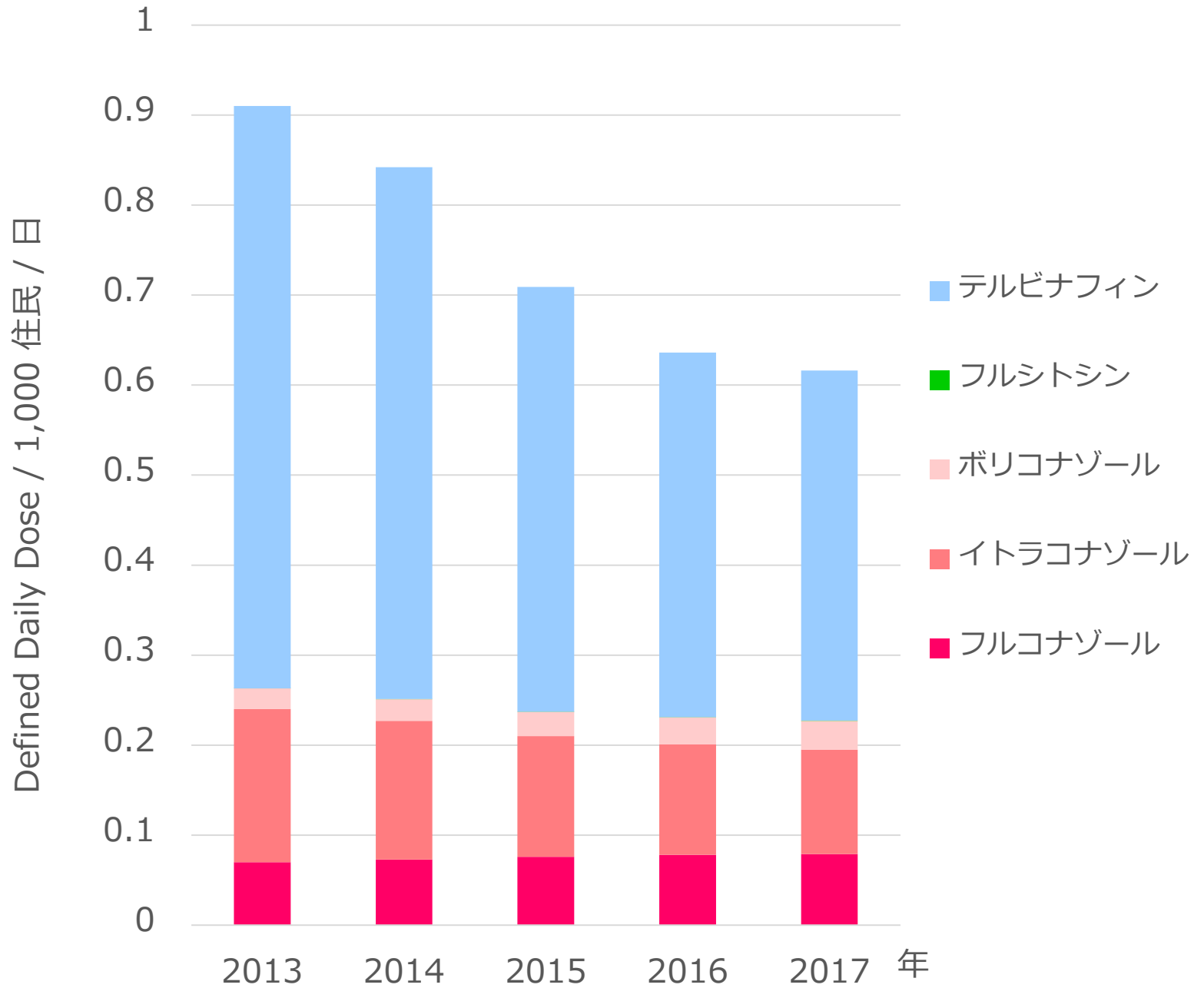
# 全国抗真菌薬サーベイランス

- 本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。  
医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。
- 表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます (参考：[https://www.whocc.no/atc\\_ddd\\_index/](https://www.whocc.no/atc_ddd_index/))。  
DDDは2020年1月1日時点のものを使用しております。
- 人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しております。
- その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください ([http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903\\_glossary.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf))。
- 注意事項
  - ・ ECDCのサーベイランスを参考に、WHOのATC分類でJ02、D01BA02に分類されている薬剤を抗真菌薬と定義して集計しています。
  - ・ 本データは内服薬と注射薬のみ集計されており、すべての抗真菌薬（外用薬など）を含むものではありません。
  - ・ アムホテリシンBについて、従来のアムホテリシンBのDDDは0.035g、リポソーマルアムホテリシンBのDDDは0.15gとして計算を行っています。（リポソーマルアムホテリシンBのDDDは添付文書に記載された用量などから独自に定義したものです）。
  - ・ 「投与経路別全国抗真菌薬使用量推移」では、内服薬の過半数以上を占めるテルビナフィンを分けて示しています。
  - ・ 本データ解析は、平成29年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (厚生労働科学研究費補助金) 薬剤耐性 (AMR) アクションプランの実行に関する研究 (研究代表者：大曲貴夫) に基づき実施されました。

# 投与経路別全国抗真菌薬使用量推移



# 全国抗真菌薬（内服薬）使用量推移



# 全国抗真菌薬（注射薬）使用量推移

